

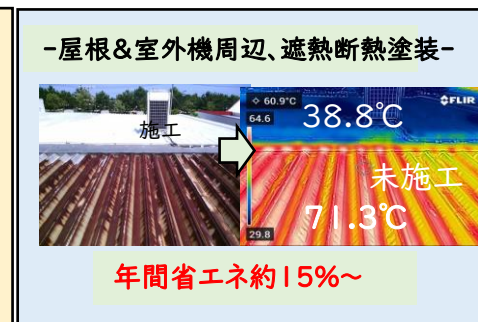
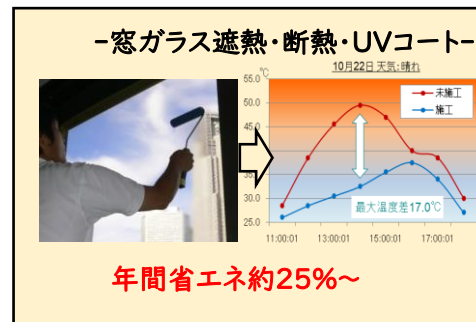
省エネ健康推進協議会では、省エネ対策の**無料アドバイス**を行っています。



電気が1kW・30円時の電気代と15%省エネ額・チェーン店では					
電気代が1年間で10円~15円上がっています。					
業種	使用電力	1Kw20円時の年間電気料金	年間電気代	15%省エネ	チェーンでの年間省エネ
中小店舗 12h	20Kw	20Kw×30円×12h×240日×50%=	86.4万円	129800円	10店舗・129.6万円
					50店舗・648万円
ドラックストア 郊外型チェーン店舗 14h	50Kw 100Kw 150Kw	50Kw×30円×14h×240日×50%=	252万円	37.8万円	100店舗・3780万円
		100Kw×30円×14h×240日×50%=	504万円	75.6万円	100店舗・7560万円
食品スーパー 14h	150Kw 300Kw	150Kw×30円×14h×240日×50%=	756万円	113.4万円	100店舗・1億1340万円
		300Kw×30円×14h×240日×50%=	1512万円	226.8万円	50店舗・1億1340万円
病院 24h	500Kw 1000Kw	500Kw×30円×24h×240日×50%=	4320万円	648万円	10店舗・6480万円
		1000Kw×30円×24h×240日×50%=	8640万円	1296万円	10店舗・1億2960万円
介護施設・老人ホーム 24h	100Kw 200Kw	100Kw×30円×24h×240日×50%=	864万円	129.6万円	50店舗・6480万円
		200Kw×30円×24h×240日×50%=	1728万円	259.2万円	50店舗・1億2960万円
オフィスビル 10h	300Kw 1000Kw	300Kw×30円×10h×240日×50%=	1080万円	162万円	10店舗・1620万円
		1000Kw×30円×10h×240日×50%=	3600万円	540万円	10店舗・5400万円

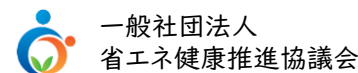
ピークカット対策『空調費ダブル省エネプラン』提案書

- ①窓ガラスの遮熱断熱コート=室内機への空調負荷軽減 年間25~30%
- ②室外機周辺塗装=屋上室外機への空調負荷軽減 年間15%~



室外機馬力・Kwをベースにした電気代に対する省エネ15%額概算・室外機省エネプランによる償却見込み											
馬力	上段:冷房時出力 下段:暖房時出力	電気料金	稼働時間	冷房期間4か月 暖房期間4か月		稼働率	電気代	年間電気代	省エネ15%	室外機 省エネプラン 概算施工代	償却期間 見込み
				稼働日	稼働率						
5馬力	3.49Kw 3.36Kw	30円	12時間	120日	40%	60307円	147398円	22109円	8万円	3.6年	
				120日	60%	87091円	171964円	25794円			
				14時間	120日	40%	70358円	171964円			25794円
				120日	60%	101606円	294796円	44219円			
				24時間	120日	40%	120614円	294796円			44219円
				120日	60%	174182円	589248円	88387円			
10馬力	7Kw 6.7Kw	30円	12時間	120日	40%	120960円	294624円	44193円	10万円	2.3年	
				120日	60%	173664円	589248円	88387円			
				14時間	120日	40%	141120円	343728円			51559円
				120日	60%	202608円	589248円	88387円			
				24時間	120日	40%	241920円	589248円			88387円
				120日	60%	347328円	1178496円	176774円			
15馬力	10.5Kw 10Kw	30円	12時間	120日	40%	170,100円	299,700円	44,955円	12万円	2.2年	
				120日	60%	259,200円	599,400円	89,910円			
				14時間	120日	40%	170,100円	299,700円			44,955円
				120日	60%	259,200円	599,400円	89,910円			
				24時間	120日	40%	340,200円	599,400円			89,910円
				120日	60%	495,600円	1,178,496円	176,774円			
20馬力	14Kw 13.4Kw	30円	12時間	120日	40%	241,920円	589,248円	88,387円	14万円	1.6年	
				120日	60%	347,328円	1,178,496円	176,774円			
				14時間	120日	40%	282,240円	687,456円			103,118円
				120日	60%	405,216円	1,178,496円	176,774円			
				24時間	120日	40%	483,840円	1,178,496円			176,774円
				120日	60%	694,656円	2,356,992円	353,548円			

あくまでも概算です。各社の状況により違ってきます。正式に現調の上でのシミュレーションになります。



空調による電気代を年間15%~40%削減しませんか

25%削減

窓ガラスの遮熱・断熱対策
による節電プラン①
=省エネガラスコートH-SC

+

15%~削減

室外機周辺の遮熱・断熱対策
による節電プラン②
=空調費省エネプラン

40%~削減

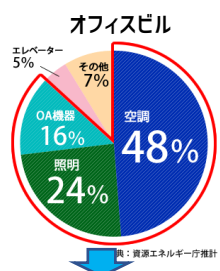
空調費
ダブル省エネプラン

既存建物の空調費削減に、画期的な節電プランが誕生しました。

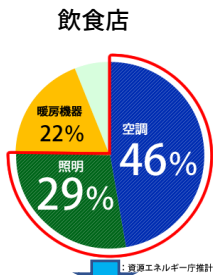
ダブル省エネプランとは、窓からの節電=省エネガラスコートH-SCと屋上室外機及び室外機周りの防水、防錆、遮熱、断熱、防汚塗装の2つの商品コラボにより、地球温暖化対策として、既存建物の電気使用量の50%近くを占める空調費を40%以上の削減を実現する節電対策プランです。

空調費の削減は、窓から出入りする熱をいかに効率よく遮熱断熱するかと空調負荷を効率よく下げる為に室外機から入る空気の温度を調整するかが最も効果的です。今回、この解決策として、窓から節電対策を省エネガラスコートH-SCにより25%以上削減と屋上室外機及び室外機周辺の防さび、遮熱、断熱塗装による節電対策をに室外機省エネプランより15%以上の削減でトータル40%以上の節電にチャレンジしませんか。

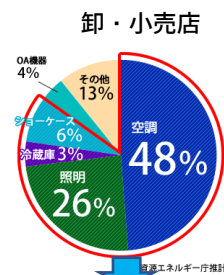
自社の年間電気代に下記の%をかけた金額が業界平均の省エネ額になります。



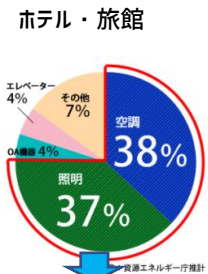
7.2%~19.2%



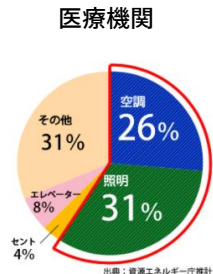
10.2%~27.2%



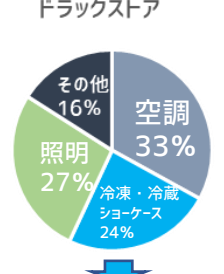
8.5%~22.8%



5.7%~15.2%



3.9%~10.4%



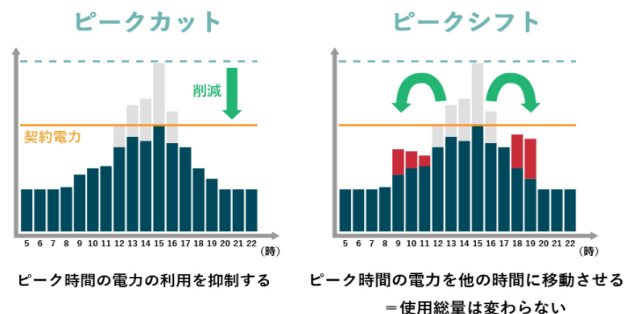
8.5%~22.8%

省エネ対策に取り組んでいますか。

- 1、まず、電気代がいくらかかっていますか
- 2、この1年でどれくらい電気代が上がっているかご存知ですか
- 3、省エネ対策、節電対策に取り組んでいますか
- 4、今後電気代が上がった分、収益の修正をしていますか
- 5、電力会社の電気仕入れに注意を払っていますか
- 6、毎月の電気使用量が見える化されていますか
- 7、空調費削減の無料シミュレーションを取りませんか

電気料金の削減で一番の対策は？

- 1、ピークカット…もともと電気を使う時間帯=ピークの電気使用量を削減して基本料金を安くする。
- 2、ピークシフト…電気使用量の少ない時間帯に電気を蓄えておき、ピーク時に使うことで最大デマンドを少なくして基本料金を安くする。(蓄電池やソーラー発電など)



電気の基本料金って
どうやって決まるの？

直近1年間で、一番電気を使用した30分間の時間帯の電気使用量を基準に、その後の1年間の電気代の基本料金が決められます。(一般的には、8月の一番暑い日)

この1~2年でどれくらい電気料金が上がっているか知っていますか、

電気の料金ってどうやって決まるの？

$$\text{電気料金} = \text{使用量(Kw)} \times (\text{1Kw単価} + \text{燃料調整費} + \text{再エネルギー負担金})$$

①、1Kw単価は、各企業ごとに違います。省エネ対策、ピークカット又は、ピークシフトにより基本料金に差があり、また、電力会社との価格交渉によっても違います。

②、燃料調整費とは、原油、液化天然ガス、石炭などの価格変動に応じて、毎月自動的に電気料金を調整した金額で、各電力会社の調達力により、金額が違ってきます。円安とウクライナ問題により、今後ますます金額が上がると予想されています。
燃料調整費が1年前に比べ、1Kw当たり4円~8円以上、上がっています。
電気使用量にかかるため、大幅な電気代のアップになります。

③、最エネルギー負担金は太陽光発電、風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギーを普及するための負担金です。